共立女子大学大学院　国際学研究科　カリキュラムツリー

ディプロマ・ポリシー

DP1
【異文化理解】
自他の文化について広い視野に立ちつつ高度な学識を身につけ、その特徴を把握するとともに、その価値を認め、適切な形で尊重することができる。

DP2
【多様性理解】
社会に対して開かれた関心と態度を身につけ、その多様性を理解するための高度な知的能力と学際的な観点を身につけており、また共感することができる。

DP3
【社会の仕組みの理解】
社会人・市民として必要とされる現代社会の制度や仕組みを深く理解し、現代社会の現状を把握できる能力を身につけている。
社会に対して開かれた関心と態度を身につけ、その多様性を学際的な観点から理解し、また共感することができる。

DP4
【問題発見・分析・解決】
国際的な問題に関する新たな課題を自ら見つけ出し、批判的に分析、言語化し、解決を提案、論理的に説明するための高い能力を身につける。

DP5
【リーダーシップ】
高度な専門性を生かし、国際社会で主体的に活動するための目標を明確に掲げ共有した上で、率先して行動し、多様な国際社会構成員との相互支援関係を作ることで、目標達成に近づいていくことができる。

カリキュラム・ポリシー

演習科目 — CP4
学生の主体的研究を促し、「修士論文」へと結実させるため、 1 年次、2 年次それぞれ半期の「国際学演習」（計 4 科目）を配置する。本科目は指導教員によるものであり、それらをすべて必修とする。また、必要に応じて補助指導教員がアドバイスを与えることとする。

関連科目 — CP3
修士論文を複数の言語（日英仏中）によって執筆可能にしていることから、選択に応じて言語スキルを向上させる科目を配置するとともに、インターンシップやフィールドワークなど、参加を通して問題意識やキャリア構想に資する科目も配置する。

専門研究科目 — CP2
国際エリア研究、国際コミュニケーション研究、国際グローバル研究、およびGSE（Global Studies in English）の4分野にそれぞれ専門研究科目を配置する。少人数クラスにおける講読、プレゼンテーション、ディスカッションを通して、高度の専門的知見を能動的に獲得するとともに、自らが設定した課題の精緻化を促す。これらの科目は順次性、系統性に配慮しつつ、 1 年次前期、後期に分けて配置する。

研究科共通科目 — CP1
国際学研究科における共通の学びのあり方を修得するために、 1 年次前期に「国際学研究入門」、1年後期に「ジェンダーとリーダーシップ」、 2 年次前期に「国際学総合研究」をそれぞれ配置する。これらは教員の輪講によって実施され、それによって国際学が有する学際的な視点を学び、課題を多角的な観点からとらえる姿勢を身につけ（「国際学研究入門」）、さらにそれを深める（「ジェンダーとリーダーシップ」、「国際学総合研究」）ことを目的とする。

DP1
- 日本語表現法Ⅰ（口語表現）
- 日本語表現法Ⅱ（文章表現）
- 中国語表現法Ⅰ
- 中国語表現法Ⅱ
- 英語表現法Ⅰ
- 英語表現法Ⅱ
- フランス語表現法Ⅰ
- フランス語表現法Ⅱ
- 中国史のなかの地方社会
- 中国史の中の官僚制
- アジアの政治と変容する地域秩序
- 現代アジアの構造変動とグローバリゼーション
- グローバル・ヒストリーのなかのヨーロッパ
- パブリック・ヒストリーとヨーロッパ
- 多文化社会としてのヨーロッパ
- 空間論からみるヨーロッパ
- 移民国家アメリカの形成
- グローバル時代のアメリカ
- 北米社会の史的展開と民主主義
- アメリカの政治文化
- アメリカ政治外交史
- 日本の表象文化と近現代文学
- 世界のなかの日本文化
- 日本語の多様性
- 日本語研究と日本語教育
- 中国の社会と言語形成
- 伝統と創造の中の中国の言語文化
- 東アジアの芸能・映像に見る民族的特色
- 東アジアの文字文化と異民族間交流
- フランス語圏の実践的異文化コミュニケーション
- ドイツ言語文化の歴史と個性
- イギリスの社会と言語文化
- ポストコロニアル理論でみる英語圏の言語文化
- アメリカ英語の多様性 —地域・人種・社会方言
- 北米の言語・文化とアイデンティティ
- 国際語としての英語
- Principles of International Relations
- Theory and Practice in Global Business
- A Dynamic Europe in Transformation
- Experiences of Asia in International Society
- Harmony and Turbulence in the Americas
- Communication in a Global Era
- Special Topics in Global Studies

DP2
- 日本近現代史の史料を読む
- 国際社会のなかの日本
- Inclusive Leadership for Diverse Societies

DP3
- Key Perspectives in Sustainability
- Education, Society, Culture

DP4
- 国際学演習Ⅳ
- 国際学演習Ⅲ
- 国際学演習Ⅱ
- 国際学演習Ⅰ
- グローバル秩序の形成と維持
- グローバル社会における紛争解決
- グローバル秩序の歴史
- 外交とステイトクラフト
- グローバル化時代の経済諸課題
- グローバル化時代の社会的諸課題
- 経済開発の理論と実践
- 経済開発の実証アプローチ
- グローバルコモンズの国際公共政策史
- サステナビリティの国際公共政策
- 和解と平和構築
- 尊厳と人間の安全保障
- Inclusive Leadership for Diverse Societies

DP5
- インターンシップ
- フィールドワーク
- Inclusive Leadership for Diverse Societies

研究科共通科目
- 国際学総合研究
- ジェンダーとリーダーシップ
- 国際学研究入門

DP1との関連性がとても高い科目
DP2との関連性がとても高い科目
DP3との関連性がとても高い科目
DP4との関連性がとても高い科目
DP5との関連性がとても高い科目

アドミッション・ポリシー

AP1
本研究科の特徴を理解し、自他の文化についての理解や国際貢献にかんする学びを主体的に追究し、社会のために還元する意欲を有している。

AP2
研究科での学修・研究に必要な学力及び専門分野に関わる知識や技能を有している。

AP3
国際学の学術的、学際的な観点、あるいはその社会的な応用の見地から意義ある課題を認識し、論理的に提示できる能力を有している。

AP4
異文化や社会の多様性を背景とした他者の考えや価値観を尊重し、協働関係を作ることができる。

※各科目は「カリキュラムマップ」でディプロマ・ポリシーとの対応関係が「◎」の科目を記述している。